

令和4年大船渡市教育委員会第11回定例会会議録

1 日 時

令和4年11月25日（金） 午後2時から午後3時20分まで

2 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

4 説明等のため出席した職員

教 育 次 長	遠 藤 和 枝
生涯学習課長	山 岸 健悦郎

5 議 事

議案第1号 令和4年大船渡市議会第4回定例会に提案する、教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについて

議案第2号 令和4年度大船渡市教育委員会の事務に関する点検評価報告書（令和3年度実施事務事業）の公表に関し議決を求めることについて

6 報告事項

（教育長）

- ① 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換（令和4年度第2回）について
- ② 岩手県学校教育ICT推進協議会（令和4年度第2回）について

（教育委員）

- ① 令和4年度「いわて教育の日」のつどいについて

（教育次長）

- ① 大船渡市制施行70周年記念 令和4年度文化財めぐりの実施結果について
- ② 令和4年度大船渡市立博物館教育普及事業「個人所蔵資料くん蒸サービス」の実施結果について
- ③ 「さんりくジオパークかわらばん2022in けせん」の実施結果について
- ④ 児童生徒の問題行動、不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

（生涯学習課）

- ① 令和4年度青少年体験学習事業「ドローンプログラミング体験教室」の開催について

7 会議の概要

(教育長)

- ・令和4年大船渡市教育委員会第11回定例会の開会を宣言する。
- ・令和4年第10回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育委員)

- ・口頭により報告する。

(教育次長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・児童生徒へのアンケート調査などの学校の取組により、いじめを発見した割合が、かなり高い。定期的にアンケートを実施し、実態把握が必要だ。

(教育長)

- ・定期的にアンケートを実施している中学校もある。中学生になると先生方に話しづらくなるのか、喧嘩を目撃するなど以外、いじめを発見するのが難しくなっている。SNSや部活動など目に見えないところだと発見できない。親がスマホのグループラインを見て発覚し、学校で初めて把握する場合もある。

(教育長職務代理者)

- ・市内では、生徒間や教師に対しての暴力行為はあるか。

(教育長)

- ・教師に対してはない。子ども同士のトラブルは、病院に行くような大きな事故はないが、年々増加傾向にある。

(委員)

- ・いじめや暴力行為などはコロナによる影響はあるか。東日本大震災の時に避難場所になった学校の体育館で、生徒たちの喧嘩などが多くなり、エネルギーを発散させる場が必要だと思った。コロナ禍により様々な規制や、行事が縮小されたことなどがストレスになって、トラブルが増えたとは考えられないか。

(教育長)

- ・コロナ禍で増えていると断言できないが、一昨年、去年と増加しているので影響はあ

と思う。発散する場がなく、部活動が一時停止になったことなども一つの要因になっているのではないか。

(委員)

- ・文化財めぐりは成果等から見ても良い取組だ。数十年前の中学校時代に蠟燭と松明を持って、関谷洞窟を探検したことがある。地底湖までは見たが、奥がどの位あるかわからないままで、いつか探検してみたい。

(教育次長)

- ・最後の地底湖はかなり奥まったところにあり、昔に比べて落盤などで、通路が狭くなっている。委員と同じく、松明で入ったという参加者もあり、歴史と地域にとって身近な存在であると感じた。

(委員)

- ・洞窟の前に川が流れていて、昔の人たちは魚を獲ったりして豊かな生活をしていたのではと想像し、ロマンを感じた。文化財めぐりの参加者も、いろいろなことを感じたのではないか。

(教育次長)

- ・ぜひ奥まで入りたいという人もあって、とても好評だった。

(委員)

- ・昔から関谷洞窟は綾里まで続いているという言い伝えがあるが。

(教育次長)

- ・犬が関谷洞窟から入って、綾里に出たという伝説があると聞いた。

(教育長)

- ・やせ細り、ただれて赤くなった犬が出てきたとか、釜石の唐丹まで行ったという話もある。

(委員)

- ・「さんりくジオパークかわらばん」は、去年は新聞に掲載されたものを見たが、作品が素晴らしいので今年ぜひ見に行きたい。
- ・陸前高田市立博物館に行ったが、非常に見応えがあり、何度でも行きたいと思った。

(教育次長)

- ・陸前高田市立博物館は、勉強に見に行きたい。

(教育長)

- ・陸前高田市は、海と貝のミュージアムと博物館が一つになり、内容が濃いものになったと思うが、震災で被災した資料の復元作業は続いていると聞いた。

(教育長職務代理者)

- ・県のコミュニティ・スクールの導入率が、全国平均より 13.4%高い。全国に先駆けて実施してきた岩手県独自の教育振興運動の取組の成果だ。

(教育長)

- ・県内で大船渡市が一番先に教育振興運動を始めた。中学校区単位で予算化され、米作りや漁業体験など取り組んできたものが、そのままコミュニティ・スクールに移行し、地域の人も気軽に参加できる取組となっている。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。

(教育長)

- ・日程第2、議案第2号は資料が部外秘のため、秘密会にしたいと考えるがよろしいか。

(教育委員)

- ・異議なし。

(教育長)

- ・それでは、会議規則第13条第1項の規定により、秘密会とする。
一般傍聴人は退席を願う。

～議案第1号 令和4年大船渡市議会第4回定例会に提案する、教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについては、秘密会のため
会議録省略～

- (教育次長が説明し、教育長が採決を諮る。全員異議がなく、議案第1号は原案どおり
可決される。)

(教育長)

- ・秘密会を解き、会議を続行する。
- ・次に日程第3、議案第2号について事務局より説明をお願いいたします。

(教育次長)

- ・議案第2号 令和4年度大船渡市教育委員会の事務に関する点検評価報告書（令和3年度実施事務事業）の公表に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第2号について、質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・子どもがスクールバスに置き去りになる事案が各地で発生しており、今月は一関市でも発生した。市でスクールバス運行を委託している業者は何社か。また、事業者に対しどのような安全対策を講じているか。

(教育次長)

- ・市所有バスを使用し運転業務のみ行っている業者は2社、自転車バスでの運行業務を委託している業者が2社となっている。今回の事件を受け、直ちに注意喚起の通知を出した。こども園の園児が乗車しているルートは、乗降時のマニュアルを作成し直ちに改善した。国では、令和5年度に置き去り防止装置の予算化を検討しており、動向を見ながら予算要求をしていく。
- ・事故を受けて、バスの車内も映るようなドライブレコーダーを増設し、それを教育委員会でも見られるようなシステムを導入して安全対策を講じている。

(委員)

- ・評価報告書は、何ヶ年計画の何年目であるとか、昨年度と同様の意見がどの位あるか、今年度新たに出た意見、どこがどう評価されているのかなどわかりやすい資料を作成してほしい。まとめ方を工夫することで、次の計画や事業の参考になるものが明確になる

のではないか。

(教育次長)

- ・報告書の作成は、今後工夫する。

(委員)

- ・今回の評価で是非取り組まなければならないものはあるか。

(教育次長)

- ・一定の評価はいただいているが、教育相談員配置事業と緊急スクールカウンセラー等派遣事業について、各々の事業の評価を行っているが、不登校に係る市の全体像から対策を講じるべきではないかという意見が今年度もあった。
- ・令和4年度から図書館が指定管理者による運営となるので、検証をしっかりと行うようにとの意見があった。
- ・博物館は地理的に市民が足を運びにくいので、市街地で何か企画するよう一昨年度から意見が出されており、現在、実施に向け調整している。
- ・社会教育の分野は、コロナ禍による制約がある中で、工夫しながら一定の成果を上げていると評価を受けた。

(委員)

- ・評価報告書は情報量が多く、見やすい表が一つあれば理解しやすい。
評価が概ねBなので問題はないかと思うが、何度も課題として取り上げられているものがあるかと思い、確認した。

(教育長)

- ・評価がCやDとなった事業はあるか。

(教育次長)

- ・C評価として提案したものがあがるが、点検の結果、B評価となった。

(教育長職務代理者)

- ・評価が上がったのは何ヶ所あるか。

(教育総務課長補佐)

- ・3ヶ所あった。

(教育次長)

- ・生涯学習の部分で、それぞれの事務事業がB評価になり、全体がB評価になった。

(教育長)

- ・コロナ禍の中で事業等が復活した部分が評価されたのか。

(教育次長)

- ・それも若干あるが、努力しているところを評価された。

(教育長職務代理者)

- ・次回から、評価が変わったところに矢印を付けるなどすればわかりやすいのではないか。

(教育次長)

- ・次回以降、検討する。

(委員)

- ・生涯学習が評価されているのは、国で推し進めているリカレント教育と施策として合

致しているのも大きいのではないか。学校教育から大人になってからの生涯学習に沿う形で構想できると、市内にある博物館や史跡の活用方法なども見えてくるので、評価されて良かった。

(生涯学習課長)

- ・リカレント教育は、現在も講座を開催しているが、そのようなところが課題であることから、今後、教育委員会と連携していく。

(教育次長)

- ・教育委員会としても、部分部分ではなく生涯を通じた学習、教育の観点から評価ができないか、検討していく。

(教育長)

- ・他に質問、意見がないことを確認後、議案第2号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第2号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見等がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和4年大船渡市教育委員会第11回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員